

ご 注 意

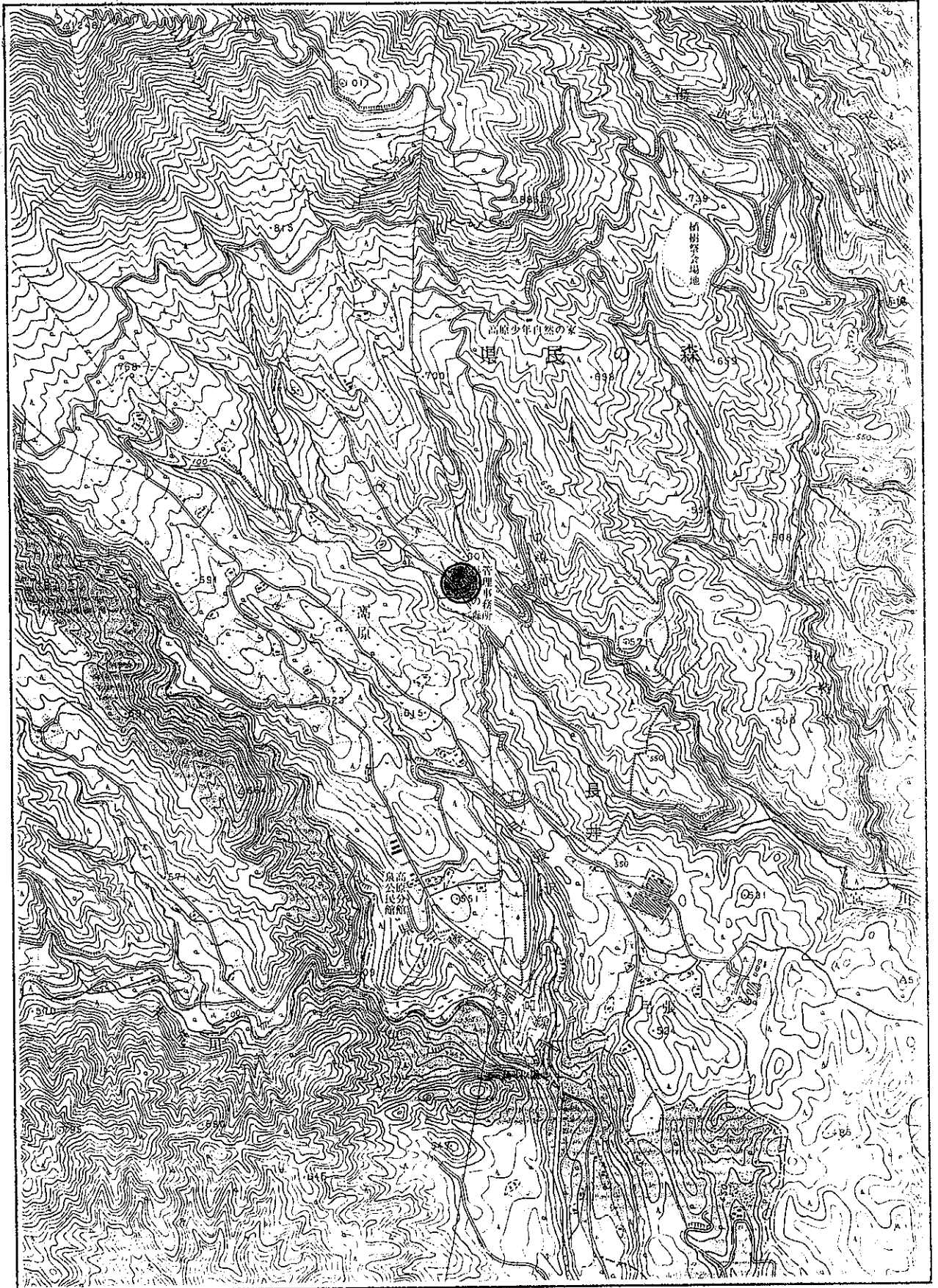
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

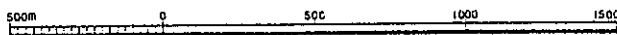
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

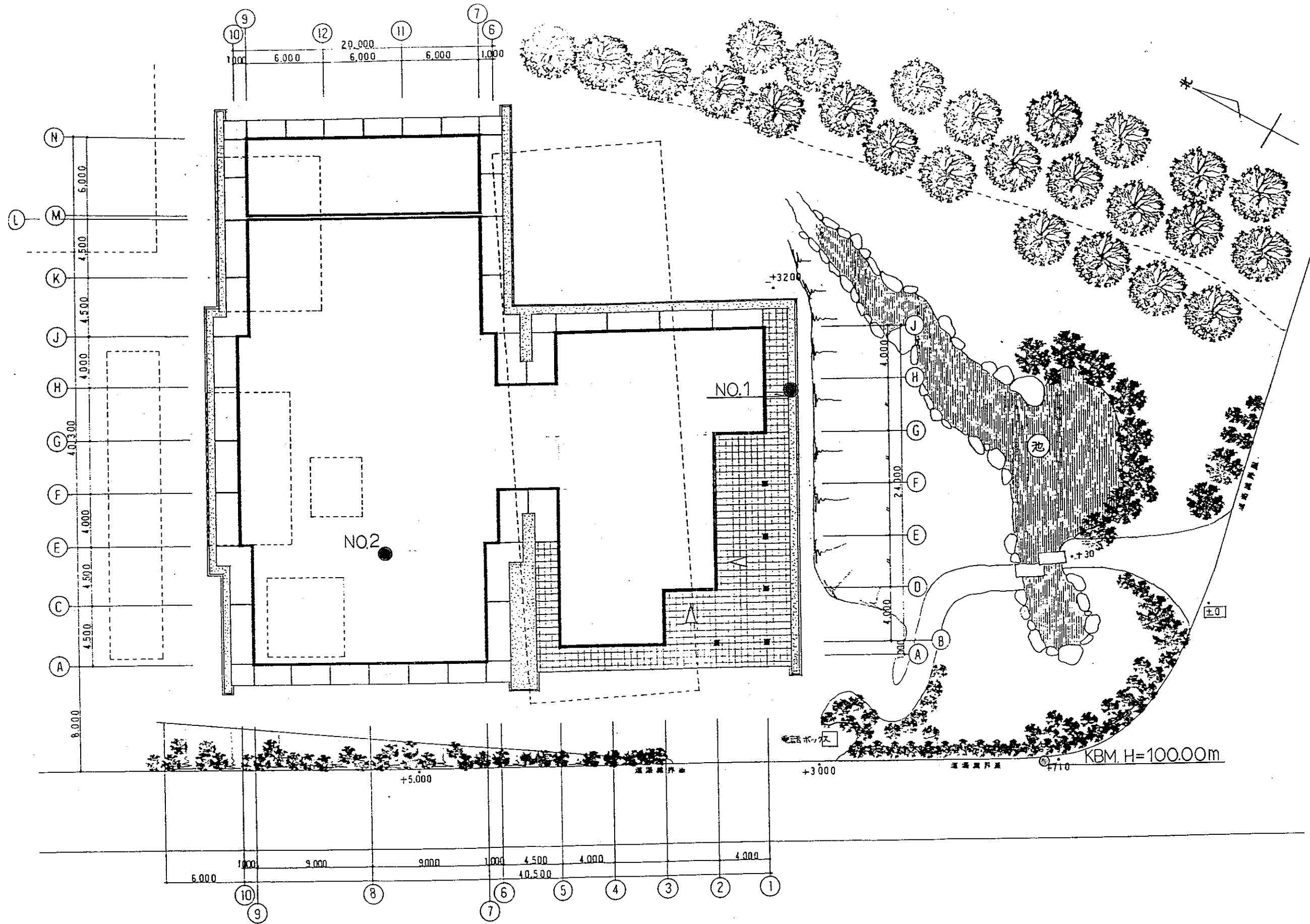
栃木県土木部建築課

調査地案内図



S = 1 : 25000





ボーリング孔配置図
縮尺 = 1 : 300

ボーリング柱状図

調査名 梶木の森・森林展示館（仮称）新築工事

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1 孔	調査位置	矢板市長井 2927			北緯	
発注機関	栃木県林務部林政課			調査期間	平成 6年 6月28日 ~ 6年 7月 1日		東経
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	102.15m	角		方	北	東	西
総掘進長	12.00m	度		向	北	東	西
使用機種	東邦 D-O S			試錐機	ハンマー落下用具		トンビ
				エンジン	ヤンマー NF 110 ポンプ		PA-3

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室内試験	掘進月日		
										深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値						
1				盛土	暗褐	軟らかい		含水比高位。表面5cm程度のアスファルト。以深、粘土質ローム及び腐植土等による混合土。ガラス・プラスチック破片混入。コア最大長30cm程度採取。玉石を点在する。	7/1 5.40	1.15	1	1	1	3/30					
2	99.45	2.70								1.45									
3										2.15	1/16	1/14		2/30					
4				粘土混り砂礫	暗褐	密な		含水比高位。亜角礫主体。全体に粘土分を含む。基質部は火山砂主体。礫径2~60mm程度。玉石径80~200mm程度点在。7.20m付近より基質部が上部層に比べ密度を増し玉石も多くなる。		2.45	7	14	17	38/30					
5										3.15									
6										3.45									
7										4.15	8	12	32/8	50/28					
8										4.43									
9	93.05	6.40								5.15	17	33/7		50/17					
10	92.35	0.70		転石	暗灰	硬い		5.32											
11				安山岩	暗灰	軟岩		所々に亀裂・風化が認められる。コア最大長30cm程度。コア採取率80%以上。		6.15	11	39/3		50/13					
12	90.15	2.20								6.28									
13								7.15	50/3			50/3							
14								7.18											
								8.00	50/6			50/6							
								8.06											
								9.00	50/3			50/3							
								9.03											
								10.00	貫入不能			50/0							
								11.00	貫入不能			50/0							
								12.00	貫入不能			50/0							

